

自己を見つめさせ、道徳的実践意欲を高める指導の工夫

一本音を引き出す発問の工夫と
体験活動との関連を生かした話し合い活動を通して

児童の実態

特別研修員 道徳 廣木直美（小学校教諭）

- ・決められたことや指示されたことはできるが、自分で考え行動するのは難しい
- ・相手の立場に立って考えることや、正しい行動をとることが実践に結びついていない

道徳の時間

〈発問の工夫〉

本音を引き出すために
手紙や心情マーク・曲線等の活用

道徳的価値の理解

〈話し合い活動〉

- ・日常生活や共通体験等の写真提示
- ・小グループの話し合い

自己理解

実践1「言葉のおくりもの」
信頼友情・男女の協力
★林間学校と関連

一郎はすみ子にどんな手紙を書くか。

信頼友情について気付かせるための発問

- 「からかわれることを気にして怒ってごめんね。」
—自分の行動を反省
- 「ぼくの良いところを褒めてくれてありがとう」
—理解への感謝
- 「これからもずっと友達だよ」
—今後の行動

実践2「くずれ落ちた段ボール箱」
思いやり・親切
★総合的な学習の時間と関連

おばあさんにお礼を言われた時の気持ちは？

本当の親切について葛藤させるための発問

- 手伝ってよかった—相手の立場
- 手伝わなければよかった—自分の立場

心情マークと曲線



林間学校では、ポスト探して協力できたね。

うどん作りでも役割分担できたよ。

日常生活につながる意見

- ・男女関係なく相手のことを考えて声をかけたり、助けたりしたい。



小さい子が泣いていたけど助けられなかった。

今度は、勇気を出して声をかけたいな。

総合的な学習の時間につながる意見

- ・「お年寄りとの交流」では、一緒に楽しめる遊びを考え、自分から声をかけたい。

自己を見つめ、道徳的実践意欲を持った児童

成果と課題

- 心情マークや曲線等を活用し、本音を引き出す発問を工夫することで、多様な考えを引き出し、ねらいとする道徳的価値に迫ることができた。
- 体験活動との関連を生かした話し合い活動を取り入れたことで、友達の考えと比較しながら、自分の行動や考えを振り返り、道徳的実践意欲を高めることができた。
- 資料と体験活動とのつながりを考えたり、道徳の年間指導計画と別様を見直し、道徳の時間と各教科・行事等を関連付けた学習をさらに計画的に行ったりしていく必要がある。